



結核しずおか

12号2003年4月25日

発行所
財団法人結核予防会静岡県支部
〒420-0915
静岡市南瀬名町6-20
TEL 054-261-2512
FAX 054-261-9474
Eメール tb-shizu@topaz.ocn.ne.jp
発行責任者 金原明彦
印刷 三協印刷株式会社



巻頭言

結核とのご縁

東京女子医学専門学校（現東京女子医大）を卒業し、附属病院に勤務した頃の患者さんの殆んどが結核でした。肋膜に水がたまり、その治療の一つの穿刺して水を抜く方法は医局1年生の仕事でしたが、初めての経験で必死の毎日でした。3年後に故郷へ帰り静岡赤十字病院内科勤務となりましたが、当時入院患者の殆んどは軍人で肺疾患が大部分でした。その中に毎日咯血している人を受け持ちまして、かの静岡市の空襲時私は、宿直でしたのでこの患者さんを安心の場所へ移して見守っていました。幸いこの方は、終戦後元気で退院されました。外来の人達も肺浸潤という病名で診断書をよく書かされたものです。



この頃母との会話で知ったことですが子供の頃遊び友達だったうちの数人が結核で亡くなっているとのことに驚きました。何れも小学校卒業後大阪辺りの工場へ行って1～2年で発病し帰郷したとのこと。小学生の頃お互いに小さな子供のお守りをしながら遊んだ仲間でした。大学の同級生も卒業間もなく5～6人が結核で亡くなっておりまして、その中の1人は東京都の出身で優秀な人でしたので暫らく信じられない思いでした。こうして多くの人と接しましても結核の真髄が解りませんでした。そして保健所へ入りましてから結核研究所の研修に参加させていただき、約3ヶ月1人1肺の解剖で仕組みと病巣を知ることができ、そのお陰で保健所業務を全うすることが出来ました。

1987年から結核予防会の仕事に移り検診業務の際、診察、その人との対話、レントゲン写真読影、そして肺癌の早期発見に至っている今日ですがともかく結核予防をさげぶ私です。

財団法人結核予防会静岡県支部
前静岡診療所長 村松 みさ

小・中学校での結核健診の内容

ツベルクリン・BCGが廃止され、問診中心に！

学校関係者・保護者の方々へ

平成15年4月から小・中学校での結核健診の内容がかわります！

どのように？

現在

小学1年生・中学1年生にツベルクリン反応検査



陰性者（未感染者）にはBCG接種、強陽性者（感染の疑いがある者）等に精密検査（胸部X線検査等）。

小学2年生・中学2年生時にもツベルクリン反応検査が陰性の者には、再度BCG接種を実施する。



平成15年4月から

ツベルクリン反応検査、BCG接種共に廃止。
小学1年生～中学3年生の全学年に問診を行い、その結果必要が認められれば精密検査を実施。

まめ知識① ～ツベルクリン・BCGってなに？～ ツベルクリン反応検査

結核の感染を調べる検査。皮膚内にツベルクリン液を注射すると結核菌に感染していれば赤く反応します。BCG接種をしていても同じように反応するため、これまでBCGがきちんと接種されているか調べる意味でも実施されてきました。

※結核の検査としてはほかに胸のレントゲン撮影（胸部X線検査）がよく知られていますが、これは結核を発病しているかどうかを調べるもの。結核の「感染」と「発病」は違い、「感染」の段階では症状はなく「結核患者」とは言えません。感染を受けたことが分かったら、薬を飲んで発病を予防する必要があります。

BCG接種

毒性を弱めた結核菌で作ったワクチンで、結核の免疫をつけるために接種します。乳幼児の結核予防に高い効果があり、重症の結核を約80%予防します。BCGの効果は15年程度持続すると言われています。

なぜ？

0～14歳の人が発病する割合は、2000年には1962年（38年前）のおよそ170分の1に低下。それに伴い小・中学校での結核健診は、患者発見率が極めて低くなっていました。例えば中学1年生時には、年間13人の患者を発見するために120万人にツベルクリン反応検査を実施していたのです。

そこで、このように著しく改善された結核状況により適した結核健診方法として、国は平成15年4月から、上記の通り問診を中心とした方法に転換することを決定しました。

問診でなにをきかれるの？

- ① 結核の治療を受けたことがあるか
- ② 結核の予防の薬を飲んでいたことがあるか
- ③ 家族に結核にかかったことがある人がいるか
- ④ 結核が多い国・地域に住んでいたことがあるか
- ⑤ 結核の症状があるか
- ⑥ BCG接種を受けたことがあるか（小学1年生のみ）

上記の6つについて質問され、専門家の判断により必要な方には胸のレントゲン撮影などの精密検査を行います。確実な判断を行うためにも、問診票は、保護者の方が正確に丁寧に記入しましょう。

結核の初期症状は咳、たん、発熱、だるさや寝汗など、風邪にそっくり。

「風邪かな？」と思っても症状が長引くようなら結核を疑い、早めに医療機関を受診しましょう！

財団法人結核予防会 静岡県支部

〒420-0915 静岡市南瀬名町6番20号 TEL 054-261-2512(代) FAX 054-261-9474

e-mail tb-shizu@topaz.ocn.ne.jp



結核と闘うシール坊や

平成15年度 事業計画

I 結核を中心とする疾病の予防思想の普及

1 全国結核予防週間における啓発

○全国結核予防週間 平成15年9月24日（水）～30日（火）

①街頭キャンペーンの実施

・開催日：平成15年9月27日（土）・場所：静岡市青葉イベント広場ほか

②ポスター等の広報資料を県・市町村に配布

2 静岡県結核予防大会の開催

①開催日：平成15年9月26日（金）静岡県結核予防婦人会と共催

②場所：静岡県総合社会福祉会館7階ホール③内容：講演、表彰

3 結核予防全国大会〈第55回〉への参加

平成16年3月下旬、福井県で開催予定

4 広報資料の作成、配布

①広報誌「結核しずおか」の発行

②標語付カレンダーの作成、配布

③結核予防ポスター、結核リーフレットの配布

④「複十字」、「健康の輪」の冊子配布

⑤啓発用ビデオテープ、パネル等の貸出し

⑥出版物の斡旋

5 報道機関等への情報提供

6 県、市町村が行う健康祭等へのイベントに参加



II 結核を中心とする疾病の医療関係者の研修

①結核予防会本部主催の研修 ②学会、各種団体主催の研修等

III 結核を中心とする疾病予防対策の調査研究

①17市町医療紹介連絡票に基づく要精検者の追跡調査 ②結核感染症発生動向調査

IV 結核予防功労者の表彰

①静岡県結核予防大会において結核予防功労者、結核予防功労団体の表彰

②結核予防会本部表彰等の被表彰者の推薦

V 結核予防関係事業の助成及び指導

静岡県結核予防婦人会の諸事業に対して全面的に協力、支援

VI 結核を中心とする疾病の予防のための健康診断の実施

○平成15年度検診事業計画

1 学校検診事業 ・ 間接撮影 50,000人 ・ 直接撮影 2,100人

2 住民検診事業 ・ 間接撮影 140,000人 ・ 直接撮影 2,500人

・ 肺がん検診 120,000人 ・ 肺がん喀痰細胞診検査 4,000人

3 事業所検診事業 ・ 総合検診 10,000人 ・ 間接撮影 56,000人 ・ 直接撮影 4,000人

4 その他の検診事業（定期外検診等） ・ 間接撮影 1,500人 ・ 直接撮影 2,500人

5 胃がん検診 7,500人

○健康診断に係る医師説明会の開催

VII その他この法人の目的達成に必要な事項

1 事業運営の改善 : サービスや検診の質の向上、各種改善への取組

2 施設、設備の整備 : 検診車の整備及びコンピューターシステムの改善等

3 会議の開催等 : 支部定例の理事会・評議員会、市町担当者会議等



第54回結核予防全国大会に参加して

新幹線「ひかり」で東京まで59分、特急「はやて」に乗り換えて1時間44分で杜の都仙台へ到着した。戦後の復興期の大英断で片側4車線のすばらしい道路が南北に延びケヤキ並木がすばらしい。

3月下旬とは言え、北の地である。つい10日程前は雪だと聞いていたので、この暖かさにホットした。

大会は結核予防会総裁秋篠宮妃殿下のご臨席をいただき、行政、医療、民間団体関係者ら約1,200名の参加のもと盛大に開催された。

特別研鑽集会

昨年までは、分科会形式であったが今回は大ホールで一同に会して「生まれ変わります。世界に誇れる結核対策」のテーマでシンポジウム形式で行われた。シンポジスト6名より今春から生涯1回となるBCG（予防接種）の問題点、患者発見（学校健診、住民健診、接触者健診等）、治療・患者支援（治療成功率の向上、DOTSの推進）及びその他の対策（普及啓発、国際協力等）に分けて医師・保健師・養護教諭・保健所職員より実践的報告があった。今後の結核対策はこれまでの集団的、画一的な対策から、より個別的きめ細かな対策へと転換すべきであるとして、結核対策の大幅な見直しの基本的方向が示された。



大会式典及特別講演



であった。

これからの結核対策の方向性とそして会場を埋め尽くした多数の全国婦人会員のパワーを感じた2日間であった。牛たんて栄養をつけたのは勿論である。

結核予防会総裁秋篠宮妃殿下よりお言葉をいただき、一層結核蔓延ストップに向けて各地域の特性を充分把握した上で邁進せねばならない気持ちを新たにしました。

また、秩父宮妃記念結核予防功労賞に本県平澤玄佐吉先生が表彰を受けられた。心よりお喜び申し上げます。

最後に大会決議及び宣言が読み上げられ全員一致で採択され無事終了した。

特別講演は、「古代のみちのく」と題して「みちのく」の語源と地域、都人がイメージした「みちのく」について大変興味深いお話し

検診部長 吉村正己

市町結核・肺がん担当者会議開催される

去る2月26日（水）静岡東海軒会館において結核予防会静岡県支部主催の市町結核・肺がん検診担当者会議が開催されました。

東は小山町から西は浜北市まで16市町の住民検診担当者20人が集まり、受託市町の検診業務の円滑を図るため前年度の反省点や事業を踏まえての来年度の打ち合わせを行いました。アンケートの意見交換では各市町とも受診率アップに広報誌、インターネット上での日程掲載、健康まつりでのPR等大変努力いただいている貴重な意見が出され有意義な一日でした。

結核予防リーダー研修会



東部地区（2月19日「コミュニティながいずみ」）
中部地区（3月4日「金谷町夢づくり会館」）
西部地区（2月28日「天竜市民ホール壬生」）
の各会場とも大盛会で、改めて結核予防の関心の高さがうかがわれました。

職員研修



平成15年1月24日 ▶
新規研修としての「交通安全研修会」



◀平成15年1月30日
具体的事例を交えての「サービスマナー研修会」



平成15年2月21日 ▶
心肺蘇生法を学ぶ「応急救命処置講習会」

市町村保健センターの紹介



ブックスタート事業



浜北市保健センター分室(浜松市平口)

浜北市健康増進課をご紹介します。

浜北市は、浜松市の北側に隣接し、人口約8万7千人で、環浜名湖政令指定都市構想（合併問題）が進行中のまちの1つです。しかも15年度には、浜北市役所内の機構改革による「引越し」もあり、健康増進課は大揺れです。そのようなわけで、年度当初はご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願ひいたします。

さて、どのように変わったかと申しますと、これまで業務別に二つの係があって、事務室も2か所に分かれて（保健センター（沼）と保健センター分室（平口））おり、間違えやすいとのご意見もいただきましたが、この4月から、事務室が保健センター分室（平口）1か所に統合されました。業務内容も、母子保健と成人保健を2つの柱としてスタートいたしました。

母子保健事業は、保健センター分室を拠点に乳幼児健康診査、健康相談、予防接種、母子手帳の交付、各種教室をはじめブックスタート事業などにも取り組んでいます。

成人保健事業は、基本健康診査などの各種検診や、検診事後の各種予防教室、健康相談事業、講演会、地域の保健活動推進委員の育成など、幅広く活動しています。結核・肺がん検診では、結核予防会の皆様に毎年ご協力いただきありがとうございます。

浜北市 技術吏員 杉浦嘉子

肺ガンと一次予防（絶煙）

1998年に、国は「健康日本21」のスローガンを掲げました。その目標は、①喫煙率を半分に減らし、肺ガン罹患を30%減らす②肺ガン検診の受診率を50%まで高め、肺ガン死亡を25%減らす①、②により、肺ガン罹患・死亡を半分以下にする、というものでした。当時の喫煙率の国際比較では、米国人男性28%に対し、日本人男性は55%です。1970年代から徹底的な禁煙政策がとられた欧米先進国では、肺ガン死亡は頭打ちから、やや低下し始めています。対策が大きく遅れた日本は、今や屈指の「喫煙大国」になっています。日本人女性の喫煙率は少ないように思えますが、若い女性の喫煙率が増えている点が問題です。吸う方は色々なガンや疾患にかかりやすい・・確かにそうです。「タバコを吸っても何ともないやつもいる」という意識を持つ方もいます。特に若い層は、タバコの害といってもピンとはきません。タバコを吸えば、老ける、シワが増える、閉経が早まる、タバコは全身の細胞を傷つけ老化させるからこそ、ガンを含めた万病のもとです。タバコで増えた死亡者は年間約10万人、タバコによる医療費は1兆3千億円ともいわれます。タバコを吸わない方にも付けは回るのです。このことをもっと知って頂きたい。タバコ業界に反駁され、健康日本21は頓挫しましたが、4人に1人以上が高令者となっていく我が国で、医療費の負担はどうなるのでしょうか。目先の国益を追求しては、国が減びます。広くタバコ問題を啓蒙し続けることも、検診に携わる私たちの務めではないでしょうか。実際には、タバコをやめたいと思っている喫煙者も多いようです。やめられない理由はニコチン依存症、それも若いうちから吸い始めるほど、依存性や臓器障害も強まり、意志の力だけでは難しい面があります。禁煙外来、卒煙ネット、ニコチン製剤の短期利用などの取り組みが、効果をあげ始めています。このことも多くの方に知って頂きたいと思ひます。

(財)結核予防会静岡県支部 静岡診療所長 小林健司

なぜ・なぜ・ために

Q1.なぜツベルクリン反応(ツ反)検査やBCG接種が廃止されるのですか？

A. ツ反検査は結核に感染しているか否かを知るための検査ですが、結核の罹患率(病気にかかる割合)の低下によりツ反による患者発見率が極めて低いことや、乳児への正しいツ反は技術的に困難であることなどが挙げられます。BCGは再接種によるツ反の陽転化がかえって結核感染の診断の妨げになって不必要な予防内服、精密検査を実施していたりその後の接触者健診等での結核感染の診断の妨げになっていた、という弊害もありハイリスク個人に対策をシフトする健診に強化することになりました。

Q2.ツ反やBCG接種の廃止で結核感染が増える恐れはないのでしょうか？

A. 結核の罹患率の低下から、一律的な結核対策は利益より弊害のほうが大きくなってきたことが今回の制度改正のきっかけになっています。したがって、今後はハイリスク個人(結核に感染しやすい環境にある人)に対する精密検査や地域での接触者健診の強化といった対策に重点を置く方向で検討が進められ、今後はより効率が良く、効果的な結核対策になります。

Q3.来年度から小・中学校でのBCG接種がなくなると、例えばこれまでにBCG接種を受けそなた5歳の子供がいた場合、今後BCG接種を受ける機会はないのでしょうか？

A. 小学校入学時にBCG接種歴の確認はしますが、接種歴がなくてもその際に接種することはありません。ただし、この子が明らかな結核感染のリスクにさらされる場合(例えば親の転勤で結核まん延国に移住するなど)には、当然自主的に摂取を受けることを勧めるのがよいのではないかと思います。

Q4.BCGの直接接種は危険ではないのですか？

A. 今回の制度改正では、原則として生後6ヶ月以内にBCG接種を行うことになっているので、この間に結核に感染する可能性は極めて低い上に、仮に結核に感染している人にBCG接種したとしても「コッホ現象」という局所反応は見られますが、それほど強い反応ではないので全く心配ありません。

Q5.乳幼児に対するBCG接種は効果があるのですか？

A. 乳児の結核感染者の発病率は50%、1～5歳でも約25%と大変高く、発病しても多くは無症状でありながら初期肺結核症で無治療の場合の予後は死亡率23.9%、1年以内に90%が死亡というデータも出ています。

乳幼児についてはそのリスクの高さからBCG接種を出来るだけ早い時期に、確実に実施する必要があります。結核の発病率はしなかった場合の1/4になり、特に乳児では深刻な問題になる髄膜炎や粟粒結核にも有効であることが証明されています。

Q6.大人の結核健診は今まで通りに行われるのですか？

A. 現在16歳および19歳以上に年に1回実施している胸部X線検査は、次のような方向で見直しが検討されています。

- (1)15歳以上40歳未満のローリスク層に対しては入学時、転入時、就職時、転勤時の節目時のみ胸部X線検査を実施。
- (2)全年齢のハイリスク層(発病の危険が高い者)、デインジャー層(発病すると二次感染を起こしやすい者)に対しては年1回胸部X線検査を確実に実施。
- (3)40歳以上に対してはこれまで同様年1回胸部X線検査を実施。

おしらせ

複十字シール募金に御協力を

…… “あなたの募金は、さまざまな形で生かされています” ……

複十字シール運動は、結核や肺がん、その他胸部に関する疾患をなくして健康で明るい社会を作るため、これらの病気に対する知識の啓発と予防意識の高揚を図るとともに事業を行うための資金とすることを目的として、複十字シールを媒体とした募金活動です。

皆様からの多くの善意の募金は、検診車等の検診機器の整備、結核予防の広報教育・調査研究、結核予防事業の助成や発展途上国の結核対策援護などへと大切に使われています。

14年度も多くの皆様から複十字シール募金に御協力いただき誠にありがとうございました。

14年度募金実績額	一般募金（組織）	23,876千円
	郵送募金	2,683千円
	計	26,559千円

募金へのお問い合わせは

(財) 結核予防会静岡県支部 054-261-2512

複十字シールの今昔（シールの第1回発行は昭和27年）を10年間隔で掲載してみました。



昭和27年

昭和37年

昭和47年



昭和57年

平成4年

平成14年

職員等の表彰

第六回秩父宮妃記念結核予防功労賞を受けられました。



平澤 亥佐吉氏

(結核予防会静岡県支部理事)

- 財団法人結核予防会ではホームページを開設しております。
ホームページアドレス <http://www.jatahq.org>
- 財団法人結核予防会静岡県支部
Eメールアドレス tb-shizu@topaz.ocn.ne.jp

◇新たな年度がスタートし職員一同さらに気持ちを引き締めて、県民の皆様の健康保持の一端を担う検診業務に邁進してまいります。
◇安全運転をモットーにしている当支部は毎年「静岡県セーフティチャレンジラリー150」に挑戦し、無事故、無違反を達成。昨年度は賞品までゲット。嬉しさも2倍でした。

編集後記

(A. K)

キ〜オ先生の一日

作画 さうい



新刊案内

「学校の結核健診マニュアルとその解説」

結核予防会結核研究所長

森 亨監修

A4判・48頁 定価945円

(本体900円)

平成15年4月から変わる

学校保健の実際的解説。



題字：田中隆（元支部職員） 表紙撮影：白鳥岩男（事業部長）